

“鮮度一番！”

No.179

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1～2 / 忘れない！東日本大震災 第3回
2 / ひとことコラム
2～3 / 運営委員会で話し合われたこと
4 / 研修報告
5～6 / 3つのお知らせ 編集後記

忘れない！ 東日本大震災!! (5回連載の3回目)

菊池 恵子

福島を離れる

両親は常備薬が残りわずかでした。病院に連絡すると代用薬を出してもらえると聞いて、外気に触れないよう肌を覆って、急いで出かけました。夕方、「この避難所は閉鎖します。新潟へ行くことになるので今から〇〇中学校の体育館に移動してください。毛布類はどうぞお持ちください」という連絡。移動して行った体育館の中はあふれんばかりの人でした。一晩中電気がついていて、食品や水は残らず配られ、日付が変わるころに、役所の方が「朝になったら新潟行きのバスが出ます。三つの選択肢から選んでください。

1. バスに乗って新潟に行く
2. 10リットルのガソリン券を渡すので車で後からついて行ってもよい
3. 10リットルのガソリン券を渡すので好きな所に行ってもよい

用紙に記入してください」と。厳しい選択です。「新潟のどこへ行くのでしょうか」と聞くと「それは教えられません」というのです。家族で話し合い、知り合いなどに電話しましたが、お互い大変なときに訪ねて行くのは無理でした。ガソリンの残りも半分となり、暖房をつけながら渋滞に巻き込まれ、ガス欠になることを考え、新潟へバスで向かう選択をしました。朝8時にバスが来ます。バスに持ち込める荷物は限られています。大急ぎで荷物をまとめ、車と荷物を妹の所に預かってもらうことにしました。

新潟行を決めた時点で、娘は黙り込んで声も出さず泣くので困りました。誰だって生まれ育った土地は離れたくない。知らない所へ行くのは不安だったと思います。すぐに戻れると思ったので新潟行のバスに向かいました。一緒にいた友人家族とはここで別れました。友人たちは仙台に向かい、そこから子どもたちを東京へ帰らせるとのことで「生きてまた地元で会おう。乗ったバスの行先でよくも悪くもなるんだから」と言われ、それぞれ旅立ちました。

この地区は30キロ圏内ですが、一般のバスが入ってこないので中継地点までは自衛隊の先導で、自衛

隊員が乗り込み、物々しい雰囲気を出発です。後ろ髪引かれる思いで、悲しみがこみあげてきました。妹の家族は（特に甥は友だちが避難しているから自分たちも強く思っていました）、旦那さんが消防団員で地震直後から遺体探し・引上げの大変な仕事をしているので残るといい、お姑さんたちも牛などがいるし、余所の牛も預かっているため動くことができません。

バスの窓から見る風景は、場所によっては被害がまったくない所、屋根が壊れている所と、地盤によってさまざまでした。

・・・ひとことコラム・・・

K. N

最近友人同士のように映画の話ができるようになった娘のお勧めもあり、サウジアラビアの女性監督作品「少女は自転車にのって」を新潟市内で観てきました。

サウジアラビアはイスラム教国で、女性に対しては服装をはじめ、職業や結婚、その他にも色々と行動に制約のある国。今でも女性は、お酒、豚肉、肌の露出、車の運転、一人旅は禁止。映画館や結婚式以外の集会への参加もできず、参政権もないそうです。（2015年からは地方選挙で参加できる予定とのこと）日本では驚くようなことばかりですが、それは文化でもあり大切な風習でもあります。この映画はけして、サウジの女性への扱いを否定したり、抗議するような内容の映画ではありません。

「自分も自転車に乗って男の子と競争したい、そしてきっと勝ってみせる」

でも、女の子が自転車に乗るなんて、サウジアラビアではけして簡単に許されることではないのです。1人の少女が、そんな子供らしい純粋な希望をかなえていく姿を見せながら、女性が勇気をもって生きることをとてもすがすがしく見せてくれる映画です。そしてこれはまた、女性として社会に逆らうことなく生きてきた1人の母親が、新しい流れの中へ自分の娘の背中を押す話でもあります。

とても前向きでさわやかなところが大きな魅力であり、作品を知的で感動的なものにしていきます。

今の日本は、女性はお酒も、車の運転も、好きな時に好きな所へ行くことも禁止されてはいませんが、表向き男女は平等です。でも、まだまだ窮屈な思いの中で日々違和感を感じている人もいます。しれませんが、したたかにひたむきに・・・新しい一歩を。

女性への応援賛歌はきっと静かな感動を残すと思います。



運営委員会で話し合われたこと

日時 平成26年2月5日（水）（AM9：30～11：30）

場所 男女共同参画センター

競技のルールも良く知らないくせに、ミーハーな私は、やっぱりテレビの前で冬季オリンピックにはらはらドキドキしています。

インフルエンザが猛威をふるっているようですが、どうぞ暖かな春を笑顔で迎えられるようご自愛ください。

次回の運営委員会は、3月5日（水）9：30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1. 新潟経営大学公開講座の参加報告

2回にわたって行われた市島清貴教授の公開講座「批判的思考法とレトリック～民主主義社会の責任ある構成員になるために」へ、運営委員から5名が出席してきました。

「批判的思考法」とは、鵜呑みにせず、きちんと自分の頭で考えること。「レトリック」とは、言葉で相手を納得させること。

ちょっと難しそうなテーマですが、とても楽しい講義でした。4ページに参加報告を載せましたのでお読みください。

2. 映画「じんじん」について

当会が「じんじん」上映のお手伝いをした2月1日（土）は、たくさんの来場者があり、観た人から良い映画だったとの感想をいただきました。私を含めて涙を流した人も多かったようです。

当会への分担チケット50枚は、皆様のおかげでほとんどを売ることができました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

それまでの準備から、当日の進行、挨拶を務めた西方さん、お疲れ様でした。

3. 各種審議会等について

平成25年度第1回三条市特別職報酬等審議会会議が、平成26年1月20日（月）、市役所で開かれました。

特別職報酬とは、1 議会議員の報酬額、2 市長及び副市長の給料額を指します。前年度までは、据え置きか減額かと話し合われましたが、今年度は、引き上げの意見も出ました。しかしながら結果は、据え置きとなったことをご報告します。詳細は、三条市のホームページで公開されましたのでご覧ください。（野崎）

4. その他

田辺さんから、4月から始まる「ワイワイ女性ひろば」について話がありました。テーマは、公開講座で学んできたコミュニケーション等から改めて考えているとの事です。また、燕三条エフエム放送の事務所が、JR燕三条駅から出て、燕の交通公園脇への転居が、いよいよ3月21日から始まるそうです。

【研修報告】

新潟経営大学公開講座 受講報告

安室 久恵

1月27日、2月3日、「批判的思考法とレトリック—民主主義社会の責任ある構成員になるために」（講師・市島清貴新潟経営大学経営情報学部教授）を聴講してきた。

まず、日本型の文化、思考、行動と欧米型のその比較。日本人は以心伝心を期待し、曖昧で、議論を避ける。建設的な意見を言わない、言わなくてもわかるだろうと相手に押し量ることを求める消極的なコミュニケーションである。対して、欧米型は言わなければ理解されないと、イエス・ノーを明確にしたうえで、説明、説得する積極的コミュニケーションである。

さまざまな例示でなるほどと納得させられた。日本社会のあり方、コミュニケーション教育の不足が問題とされる。確かに、外交問題での心情の吐露、「察してください」では世界に通用しない。正確な論拠で説明し、説得する責任がある。個人的なことだが、日本特有の世間というものに息苦しさを感じていたことを思い出した。十年前か、阿部勤也著『「世間」とは何か』を手に取り、内容はよく理解できなかったにしろ、「世間」は実態のはっきりいいきれない臆なもので、それも日本人の思考に枠をはめている一つではないかと思った。

では、思考方法、表現方法を変えるにはどうするか。頭を使う・鵜呑みにしない、問題の先送りをしない、説得を目的としたスピーチ法を学ぶべしとなる。人として社会で生きていくために、民主主義を根付かせるために求められる批判的思考力—知識を使う知恵、意思決定・判断する能力、問題解決能力・発想力・創造的思考力—を獲得しなければならない。

簡単にそれは身につくものではない。教育の中で、生きていく中で自分のものにする。効果的なスピーチの方法を学校教育にとりいれよ、そしてディベートのすすめと続く。

おとなが自分の頭で考え、意見をきちんと言えなくて何が子どもに伝わるだろうか。経験・心情を伝えることを全否定するわけではないが、客観的事実の裏付けも必要である。その時点で言い得る意見をはっきり伝える。時の経過で意見が変わることもあるが、それはそれで何が理由か説明すればいい。

世論調査などで「わからない」「どちらともいえない」という割合が大きい。内閣支持率とは何を示しているか。「ものを考えていない、はっきり言わない、わからない」は強い力に引っ張られるのだと市島先生は言われた。それは怖いことだと思う。同調圧力はどんな場面でもある。自己規制してしまう。それはやめよう。誰が何を言っているのか、しっかり受け止める。そしてわたしはこう考えると発言していかなければならない。わたしたちは民主主義社会の責任ある構成員なのだから。

【3つのお知らせ】

★「うたごえ喫茶」開店で～す！

ある世代には超懐かしい「うたごえ喫茶ともしび」が三条にやってきます。
新宿のうたごえ喫茶ともしび代表の大野さんと、アコーディオン奏者をお招きします。
1人で盛り上がるカラオケもいいけれど、仲間と一緒に歌う連体感はまた格別。
初めて出会った人とも、声を合わせて歌うだけでお友達になってしまいます。
「歌が苦手」という人も、みんなで歌えば平気です。
「青春」を取り戻したい方も、「うたごえ喫茶って何？」という方も、ど～ぞお気軽に起こし
下さい。

- ◆日 時： **3月14日(金)** 午後2:00～4:00
- ◆会 場：一の木戸商店街 みんくる
- ◆参加費：1ドリンク付き1000円

主催/NPO さんじょう 共催/NPO 法人三条おやこ劇場
チケット取扱い場所/みんくる NPO さんじょう

★新潟県女性財団講演会

働き方の今「産ませない社会」を考える

- ◆日 時 **3月15日(土)** 13:30～15:30
- ◆会 場 新潟県女性センター 女性団体交流室2(新潟ユニゾンプラザ2階)
- ◆講 師 小林美希さん(労働経済ジャーナリスト)
- ◆参加費 500円(三条女性会議会員は無料)
- ◆申込み・お問合せ 新潟県女性財団事務局まで(TEL025-285-6610)
※財団ホームページの「お申込フォーム」も利用できます

★川瀬弓子さんより

三条宝生会春の会のお知らせ

プログラムはギリギリにならないとできないのでご紹介させていただきます。
「鮮度一番！」に掲載させていただいた演目を巡り合わせて私が二番出演させて
いただくことになりました。
一つは「山姥」の仕舞です。

「そもそも山姥は～」と謡いだすところから始まり、時には人間とも遊ぶし仕事も手伝うよとアピールし、こんな私がいることを都の人に伝えてほしいな、と訴えます。

二つ目は「高野物狂」謡のシテをいただきました。

別れ別れになった主従が高野山で劇的な邂逅を果たすところを謡います。

おまけに「唐船」という舞囃子にて太鼓を打たせていただきます。

故あって日本に渡ってきた唐人のところへ唐においてきた子ども二人が迎えにきますが、既に彼には日本の子が二人います。四人の子どもに袖をつかまれ悩みに悩みますが主人から4人連れて唐へ帰ってもよろしいとお許しをいただき、喜びに樂を舞うのです。

「樂」という特殊の手法の囃子です

以上、今回はいつになく出番が多いので、ちょっとでも古典に触れていただければ幸いと、非力ではありますがお知らせいたします。

春の一日、ダンスに眠っている着物などお召しになって、常とは異なるお時間をお楽しみいただければ幸いです。

お帰りにどこかへお立ち寄りいただきお食事もいいかもしれません。

◆日 時：平成26年**3月30日(日)** 10:00から17:00の間

(出番がハッキリしたらまたご連絡いたします)

◆場 所：三観荘

お出入り自由、どなたでも、無料です。

編集後記：

せめてその瞬間は選手と一緒に喜びを分かち合いたい…と、眠い目をこすりながらオリンピック LIVE 放送に釘づけの毎日です。夜中にもかかわらずテレビの前で「やったー！」と主人と二人大声を上げています。2020年の東京オリンピックに、孫も何かでメダルを…と、一人夢をふくらませてにんまりの私を、冷ややかに見つめる主人がいました。

今号もどうぞ隅から隅までお読みください。

(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

